

エリアとくらし

第22号 2016年4月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

TEL：095-882-7585

<http://www.togitsu-ikuseikai.jp>

第14回交流芸能祭 2月21日(日)とぎつかナリーホール



歌・ダンス満載のミュージカル仕立て！みんなの楽しむ姿は会場にも伝わったみたいです♪

今年のエリアのテーマは「エリアの秘宝」。ルパン一味がエリアという街にあるお宝を探すストーリーに沿って、ダンス、お芝居、手作り楽器の演奏と歌と盛りだくさんの内容の舞台となりました。9月から練習を開始し、本番は緊張した表情も見られていましたが、職員以上に落ち着いて練習を上回る演技を見せて下さいました。皆様の本番力には脱帽です。

「楽しかった」「緊張せず練習通りやれた」「緊張した」「ちょっと失敗したけど仲間がポンと肩を叩いてくれてよかった」「人がいっぱいであっとびっくりした」「お父さん、お母さんが来てくれた」の声が出演者から聞かれました。皆様の頑張りで良い舞台になりました。ありがとうございます。(池田)



第2回 新年親子の集い

1月17日(日)野田郷ふれあい館



↑親子・職員ともににぎやかに盛り上がりました♪

今年は、新成人が5名もいらっしゃいました。

成人の抱負・目標に「仕事を頑張ります」(川添夕希さん)「作業のスピードを上げます」(那須結生さん)「作業を頑張る・これまで育ててくれた親に感謝」(山田流生さん)「色々なことを頑張る」(末吉未紗紀さん)「色々頑張る・友達の分まで頑張る」(山下峻嘉さん)を挙げられていました。(※話された内容は要約しています)

↑理事長から新成人にお祝いの贈呈

どなたも凛々しく、堂々と発表されている姿が印象的で、新成人のみなさんの諸々の期待に応えられるようにと、職員の私も襟を正す思いで聴いていました。

次に、職員は自己紹介、会員さんは所長から、利用者さんは職員から、エリアでの様子を交えご家族も含めた全員の紹介があり、笑いが起こっていました。

その後、ビンゴ大会です。みんな数字と紙に真剣に向き合い、景品GET! 今年は、安野さんの働きかけで沢山の企業から協賛が得られ、保護者向けの景品がグレードアップ! 予算の余った分、本人さんたちの景品も豪華になりました。

翌日には、「(景品)使ったよ〜♪」と多くの声が上がリ、作業室一面に笑顔が咲いていました。とても、充実した1日だったと思います。(岸部武)



第17回 西彼杵郡人権教育研究大会

2月9日(火)北部コミュニティセンター



約 200 人の参加者を前に、山内理事長より育成会の活動報告が発表されました。内容は、①育成会の歩み ②エリア21の歩み ③障がい者の就労状況について ④時津町内での活動 ⑤将来の展望及び地域福祉ネットワークについてでした。

会場からは新事業体系で始まった運営の苦労や就労支援等への活発な質問があり、様々な方に本会の活動を知っていただく、いい機会であったと思います。(辻)

おしゃべり会～ミニ勉強会～

平成27年12月15日(火)時津公民館

平成28年2月16日(火)時津東部コミュニティセンター

育成会では偶数月の第3火曜日に“おしゃべり会”を開催していますが、昨年12月と今年2月のおしゃべり会は、ミニ勉強会を企画しました。

12月の勉強会テーマは「成年後見制度について」。昨年11月の勉強会のアンケートで、「成年後見制度について内容を詳しく聞きたい」という声をいただき、それに応えるようなかたちで開催したものです。

育成会の会員で、『市民後見人の会・ながさき』でも活動されている岸部誠さんに講師をお願いし、成年後見制度の仕組みや長所・短所等を勉強しました。

勉強会といってもざっくりばらんな雰囲気でも、途中、質問や意見が飛び交い、最後は時間が足りなくなるくらい充実した勉強会でした(^ ^)

成年後見制度を勉強する中で、「日常生活自立支援事業」についても触れられたことをきっかけに、2月のおしゃべり会もこれをテーマにミニ勉強会に変更することに。講師には、業務に携わられている時津町社会福祉協議会の橋口幸代さんにご協力いただき、お話を伺いました。

日常生活自立支援事業の概要や契約までの手順などの他、生活困窮者自立支援法についても話してくださり、この勉強会を機会に社協をより身近に感じることができました。私自身、このミニ勉強会は、大変勉強になりました。これからも会員活動において、みなさんの自己啓発のお手伝いができたらと思います。(岸部希)



長崎県手をつなぐ育成会 役員研修会

2月10日(水)アリーナかぶとがに



本会より6名で参加しました。午前中は「糸賀一雄のメッセージ～この子らを世の光に」という演題で社会福祉法人・大木会理事長 斎藤 昭氏より「近江学園と糸賀一雄の思想について」ご講演頂きました。

近江学園は戦災孤児・生活困窮者・知的障害児を対象として、教育と生活を一体とした本格的な教育を掲げ、総合教育統合学園を目指して昭和21年11月に民間の施設として開設されたそうです。

糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」という言葉を初めて耳にした時、「いい言葉だな、糸賀一雄さんてどんな方だろう？」と思っていましたので、今回の研修会はとても有意義でした。

この言葉は「精神薄弱な人たち自身の真実な生き方が世の光となるのであって、それを助ける私たち自身や

世の中の人々が、かえって人間の生命の真実に目覚め救われていく」という願いと想いがこめられているそうです。無知な私も知的障がいのある長男のおかげで多くの方々に触れ合うことができ、少しずつ育てられてきたような気がします。

午後は「弁護士から見た老後のそなえ」というテーマで弁護士の曾場尾 雅宏氏より成年後見制度と遺言書の書き方等についてご講演頂きました。

何度か研修会に参加し、老後のことは必要性も重要性も理解できているのについつい先延ばしになっています。多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。(杉本)

ドリーム懇親会 3月21日(月・祝)



4月で5年目を迎えるグループホーム・ケアホーム「ドリーム」では、現在4人の方が利用中です。今回は手巻き寿司や苺を食べながら団らんしました。すっかり生活リズムができ、協力して共同生活ができています。これからも利用者みなさんがいきいきと地域で生活できるよう応援していきます。(辻)

ドリームの世話人さん交代します

ドリームの世話人として長く勤めていただいた田平さんに代わり、古賀さんが入られます。

田平さん、大変お疲れさまでした。みなさんどうぞよろしくお願いします。



～古賀さんより～

「2月1日からお世話になっています、古賀輝美枝です。以前エリアの厨房でお世話になっていた者です。今度は世話人ということで利用者みなさんと家庭的な雰囲気の中で接していけたらと思っています。保護者のみなさま、どうぞよろしくお願い致します。」

ギャラリー「手しごと さきの」リニューアル

「どうすれば購買意欲を高めるディスプレイで販売につなげられるか?」「商品の魅力をより引き出すには…?」と悩んでいました。

そんな時に長崎県商工会から専門家を派遣していただく機会があり、質問や意見交換で具体的に改善方法の指導を受けることができました。

費用をかけずに工夫をし、商品の入れ替えやディスプレイの変更を実践しました。棚替え後はみなさまに「商品が選びやすくなった」「商品が見やすくなった」などのお言葉をいただくことができ、ちょっとした手応えを感じています。



専門家に
ギャラリーの展示、
ディスプレイを
個別指導
していただきました！



今後は季節感あふれ、商品をより身近に感じることができるギャラリーにしていこうと思っています。くつろげる空間のレストランと、綺麗になったギャラリーでエリアのみなさんがお迎えします。(布志木・エリア 21 スタッフ一同)

衛生優良店に選出されました

昨年に引き続き、今年度も平成 27 年度長崎県衛生優良店に選ばれ、保健所より標識 (A マーク) をいただきました。



これは、営業施設及び管理方法等が特に優良な施設として衛生優良店を毎年保健所が選定しているものです。

これからもお客様に喜ばれるサービスとともにしっかりとした衛生管理を継続していきます。



さようなら、なづみ幼稚園の給食提供



平成 22 年度から本事業所で給食を提供していましたが、給食提供は今年度までとなりました。毎週水・金曜日に 100 食程度、副食を提供していましたが、園児のみなさまとのつながりが無くなるのは残念ですが、今後も地域で活動をする仲間として仲良くしていきたいです。6 年間お世話になりました。(辻)

4/17 (日) 崎野自然公園にてバーベキュー大会開催！
みなさまのご参加お待ちしております！！